● curses モジュール述語

curses モジュールはシステムに組み込まれた標準のライブラリモジュールの集合です。
呼び出すときには、"::curses"に続けて記述します。

::curses <startcurses 述語...>

cursesモジュールを使うための初期化と後片付け処理を行う。
引数の述語でcursesの処理を行う。

::curses <mvprintw X Y STRING>

画面の位置(X, Y)にSTRINGを表示する。

::curses <printw STRING>

画面の位置にSTRINGを表示する。

::curses <refresh>

画面の更新を行う。

::curses <move X Y>

画面の位置(X, Y)にカーソルを移動する。

::curses <cbreak>

キー入力を直ちに受け付けるモードにする。

::curses <nobreak>

改行かキャリッジリターンが入力されるまで，キー入力をバッファするモードにする。

::curses <echo>

キーをタイプしたときに，スクリーンにエコーするモードにする。

::curses <noecho>

キーをタイプしたときに，スクリーンにエコーしないモードにする。

::curses <border ls rs ts bs tl tr bl br>

スクリーンの周囲に罫線を引く

::curses <erase>

画面全体を空白で埋める。

::curses <clear>

画面をクリアする。

::curses <clrtobot>

カーソルの位置から下の画面をクリアする。

::curses <clrtoeol>

カーソルの位置から後の行の文字をクリアする。

::curses <getch VAR>

キーコードを１文字入力してVARに設定する。

::curses <ungetch CHAR>

キーコードを１文字戻す。

::curses <getstr VAR>

文字列を入力してVARに設定する。

::curses <inch VAR>

カーソル位置の文字をVARに設定する。

::curses <instr VAR>

カーソル位置の文字列をVARに設定する。

::curses <beep>

beep音を出します。

::curses <flash>

画面をフラッシュさせます。

::curses <hline CHAR LENGTH>

カーソル位置にLENGTHの長さの水平ラインを引きます。

::curses <vline CHAR LENGTH>

カーソル位置にLENGTHの長さの垂直ラインを引きます。

::curses <raw>

端末をrawモードに設定します。

::curses <noraw>

端末をrawモードから通常モードに設定します。

::curses <keypad VAL>

VALにTRUEを設定すると、カーソルキーやファンクションキーが有効になります。

::curses <LINES VAR>

画面の行数を変数VARに設定します。

::curses <COLS VAR>

画面の1行の文字数を変数VARに設定します。

::curses <delch>

カーソルの位置の文字を削除します。

::curses <mvdelch X Y>

位置(X, Y)の文字を削除します。

::curses <scrollok VAL>

VALにTRUEを設定すると、スクロール機能が有効になります。

::curses <scrl NUM>

NUM行スクロールします。負の値のときは逆方向にスクロールします。。